

# 組織運営グループ基本方針

担当専務理事 今別府 正義

本年は創立55周年を迎え、また、公益社団法人として7年目を迎える年にあたります。我々は、敬愛してやまない先人達がJC活動に連綿と傾けた情熱に感謝と敬意の念を抱き、圏域の明るく豊かな未来に向けて、運動を加速する必要があります。これまでも増して力強く組織として前に進み続ける為には統制された組織基盤の形成に加え、語り合い、助け合いによりメンバー同志の繋がりを深め、連携をより強固にしなければなりません。

まずは、組織の要として、定款・諸規程をはじめとする成文律、及び不文律となる規律や規範を踏まえたガバナンスと社会的責任を満たすコンプライアンスに立脚しながら、同時に運動の効果をより発揮する為に、何が最良であるかを常に確かめる姿勢をもって、バランスのとれた組織運営を行います。そして、年間を通じた活動と組織を大局的に捉えて、事業規模や実施タイミングの最適化を図り、運動の質を飛躍的に高め、メンバー一人ひとりの効果的な成長の機会を創出します。さらに、限らない自己成長を追求できる学び舎としての価値を醸成する土壌を養い、その上で、ブランディング活動を展開することにより、JCの魅力をますます引き立たせます。また、公益社団法人の成り立ち、及びその法人格を維持する功罪を共有し、組織の価値を高める為に、我々がどのような法人格を選択するかの議論を重ね、今後歩むべき道をお諮りする機会を構築します。そして、メンバー一人ひとりが組織を見つめ直し徹底的に議論を交わすことで、メンバー同志がより深く繋がり、都城青年会議所に対する愛着と帰属意識を育みながら、個と組織の成長に繋がります。

継往開来の精神に加え、青年らしい勇気と情熱に溢れる我々JCの挑戦が、互いの志を高め合いながら唯一無二の学び舎としての価値を果てしなく進化させ、かけがえのない人材を輩出し続ける営みのひたむきな積み重ねにより、この圏域の未来を明るく輝かせます。